

牛久：学校周辺に見る自然

第29号 牛久二小，牛久二中，稲敷市(宮内家)

2010年7月14日発行

＜宮内家にも現れたツマグロヒョウモン＞

ツマグロヒョウモン(タテハチョウ科)



↑ ツマグロヒョウモン・おす(5/21 牛久二中)



↑産卵のためかパンジーの周りをとぶメス(5/27牛久二小)

上の2枚の写真は12号で紹介した南方系のチョウ、ツマグロヒョウモンですが、我が家のパンジーもその幼虫に葉をムシャムシャと食べられ、下には緑色の大きめの糞ふんがたくさん落ちていました。ツマグロヒョウモンのメスが毒チョウのカバマダラによく似ていることはすでにご紹介しましたが、雌の方がきれいというのはチョウの仲間では珍めずらしいことです。



ツマグロヒョウモンの幼虫(左)とさなぎ(右)

さて、この幼虫を見て下さい。赤いトゲと背中中のオレンジのラインがいかに「私に触れたらケガするよ!」と警告けいこくしているようです。が、危険はなく手に乗せても大丈夫だそうです。これも危ない毛虫ぎたいに擬態しているのでしょう。

そしてさなぎです。一か所でとまってぶら下がっていましたが、もう片方を糸でとめるのに失敗したのかと思っておりましたが、それがこのチョウのさなぎの特徴だということです。触るとイヤイヤさわするように暴あばれて、またびっくり。金色に輝くトゲも警告なのでしょう。うちの子どもは「カッコイ〜!」と触っては暴れるのを見て喜んでいましたが。暴れすぎたのか翌日には下に落ちてしまっていました。それでも数日後には無事羽化したようです。

【理科支援員・宮内】